

5 施設誘導サインに関する 標準仕様

ここでは、施設誘導サインに関する標準仕様
(標準タイプ設計) を示します。

5-1 掲載基準

交通施設・移動円滑化施設等の不特定多数利用公共施設を優先的に表示する。

施設誘導サインは、掲載できる情報が限られているため、下記表より主要な施設を選択し表示します。特に交通施設・移動円滑化施設等の不特定多数利用公共施設は優先的に表示します。また、地域の実情に応じ、下記表に示す以外の項目を付加し掲載することも可能とします。

項目	誘導施設	施設規模等	ピクトグラム表示	優先度
地勢	地勢	河川・沼・湖・山等		
	道路	通称名のある商店街等		
	橋	移動の手がかりとなる橋等		
交通施設	鉄軌道	路線名・駅名	○	○
	バス	バスターミナル	○	○
移動円滑化施設	公衆便所		○	○
	エレベーター		○	○
	エスカレーター		○	○
	観光案内所		○	○
公園	近隣公園規模以上の公園	近隣公園規模以上	○	
観光名所	景勝地・旧跡・歴史的建造物		(○)	
	全国的な有名地			
行政施設	県庁・市役所・区役所			
	中央官庁又はその出先機関			
	警察署		○	
	消防署			
	裁判所・税務署・法務局			
	郵便局	集配局以上	○	
公共施設	図書館			
	博物館・美術館		○	
	劇場・ホール・公会堂			
	展示場・会議場等			
	総合競技場		(○)	
	各種スポーツ場	野球場・テニスコート等	(○)	
	体育館・武道館			
教育施設	学校			
医療施設	病院	救急または病床数100以上	○	
	大規模な福祉施設			
商業施設	大規模商業施設			
	大規模モール等			
その他	その他誘導が必要な施設			

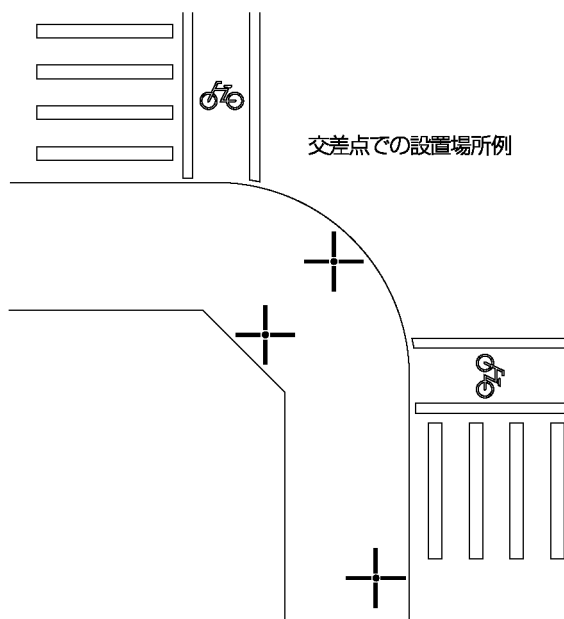
※ピクトグラム表示(○)については、施設用途により必要に応じて記載のこと。

5-2 配置位置と配置間隔

施設誘導サインは、できるだけ交通結節点や動線が分岐する主要な交差点からそれぞれ視認できる、歩行者の円滑な移動を妨げない位置に配置する。

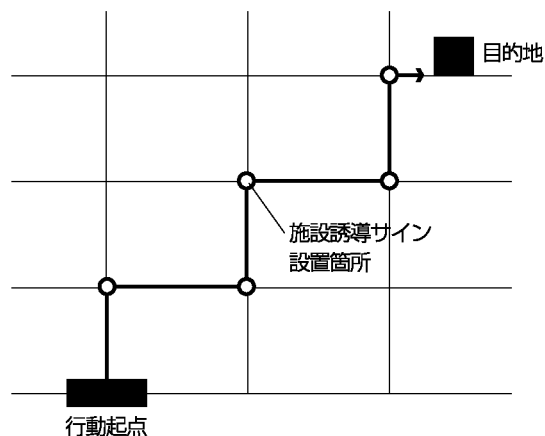
交差点内、交差点付近の見やすい位置に設置

施設誘導サインは、主要な交差点の見やすい位置に設置します。その際、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）に配慮するほか、他の交通標識の視認を妨げない箇所を選択し設置します。



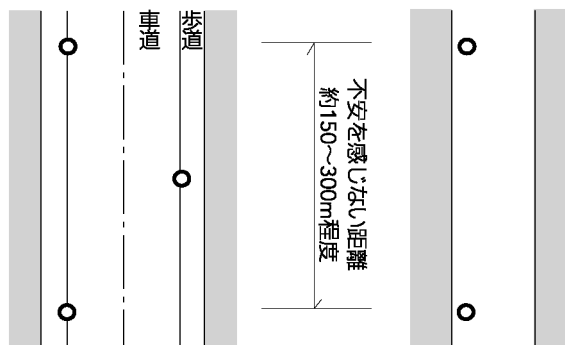
配置の連続性を確保

サインシステムの範囲が広域にわたる場合には、施設誘導サインはできるだけ繰り返し配置するようにします。



施設誘導サインの設置間隔の目安

一般に、歩いていて不安を感じない距離は、150～300mと言われており、おおよその設置間隔の目安とします。



5-3 施設誘導サイン本体標準仕様

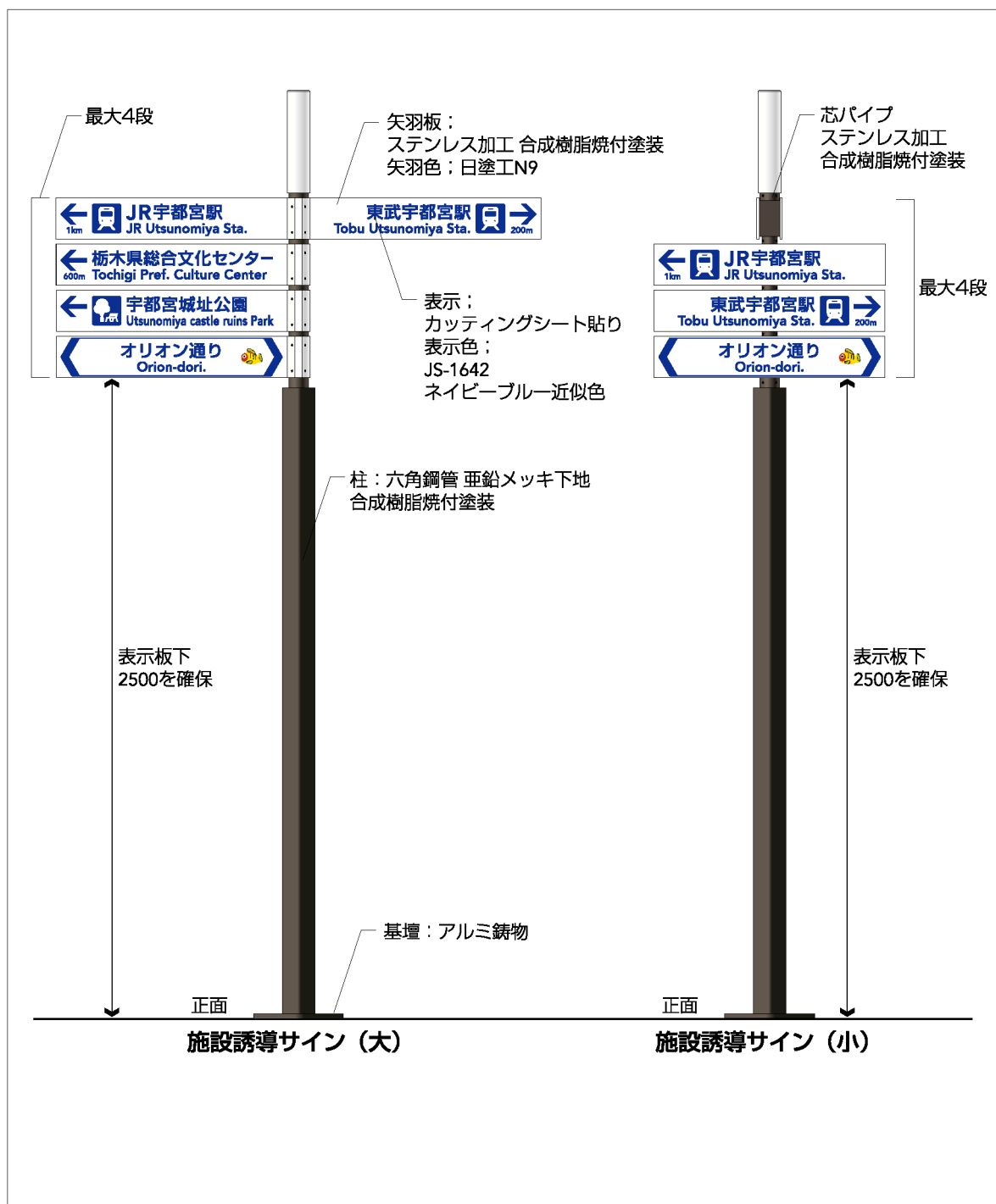
施設誘導サインについては下記仕様を標準とする。

施設誘導サインについては下記仕様を標準とします。

(「8 中心市街地サイン計画・設計事例 (P.57,58)」参照)

ただし、地域の実情に応じて変更を行うことは可能です。

施設誘導サイン標準タイプ



掲出形態

- ・遠方からの視認性・誘目性を考慮し、原則として矢羽根型を用いる。

色彩

- ・表示板は、標識令に基づき、白地／青文字とする。
- ・支柱色は景観に配慮し、落ち着いたダークブラウン（DIC3版 F10Anthracite／半つや）とする。

表示要素

- ・「きぶな」のイラストを加えることで地域性を表現する。
- ・通り名称がある場合には、通り名称表示板を設置する。
- ・施設誘導表示板には、目的地までの距離を併記する。



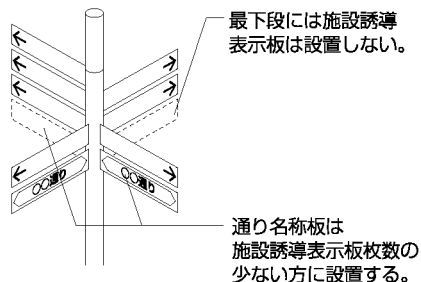
距離表示のルール	例
2桁の場合 下1桁を切り上げ	82m → 90m
3桁の場合 下1桁を切り上げ	384m → 390m
4桁の場合 下2桁を四捨五入、kmで表示	1345m → 1.3km

表示板の並べ方（順序等）について

- ・通り名称がある場合には、最下段に通り名称表示板を設置する。
その際、最下段は各方向とも通り名称表示板のみとし、施設誘導表示板は設置しない。（※1）
- ・施設誘導表示板は、距離が近い施設を下に設置する。
- ・通り名称表示板が複数の方向に出せる場合（通りの中間部表示）は、各方向の矢羽根枚数について、枚数差が少なくなるようにバランスを考慮して向きを決定する。（※2）
- ・施設誘導サイン（小）については、基本は上記ルールに則るが、板向きをできるだけ統一する。（※3）

（※1）

最下段に通り名称表示板を設置する場合、施設名称表示板は最下段より2段目から順に上へ積み上げる。



（※2）

通り名称表示板が複数方向に設置可能な場合は、施設誘導表示板の枚数が少ない方に設置し、全体のバランスをとる。

（※3）

距離が近い施設から順に積み上げることを原則とするが、見やすさを考慮し、板方向の統一を優先させる。

